

東京都社会福祉協議会「認知症高齢者支援の推進プロジェクト」について

目的

東社協が行っている地域福祉権利擁護事業、高齢部会活動、家族介護者への支援、研修事業等を有機的に連携させ、東社協らしい事業を展開することで、地域における認知症理解の普及や、地域における認知症支援のための専門職の連携によるネットワークの強化、住まいをはじめとした地域の暮らしの場や人とのかかわりの環境づくりと制度の改善をめざし、「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住みなれた地域で暮らし続ける社会」をつくる一助とする。

認知症高齢者支援の推進プロジェクト

<想定する実施事業>

- (1) 認知症の理解・予防のための出版事業
- (2) 認知症の人と家族が集える場の検討
- (3) 高齢関係部会と地域密着型事業者や住宅関係団体との連携
- (4) 認知症の人を支える専門職（地域包括、権利擁護 etc）の連携促進
- (5) 認知症になっても暮らし続けられるインフラ整備の提案
- (6) 施策への提言

局内PJメンバー

- * 企画担当（出版事業）
- * 高齢担当（包括、在宅事業所）
- * 権利擁護担当（地域福祉権利擁護事業、成年後見制度）
- * 研修室（認知症に関する研修事業）
- * TVAC（家族介護支援）

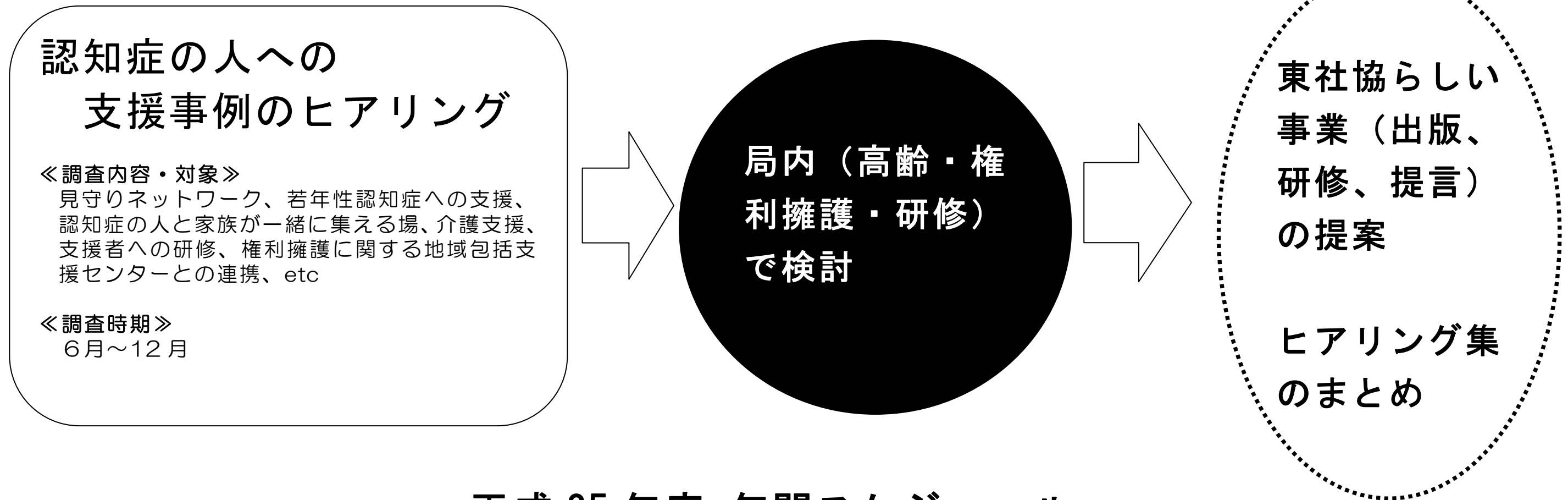
認知症の人を支えている実践事例

- 認知症の人への支援
- 家族への支援
- 専門職への支援
- 地域・関係機関への普及・啓発・連携

<支援の対象>

認知症の人
 支える家族
 支える地域住民・機関
 支援者・専門職
 インフラ環境

平成 25 年度の事業展開イメージ



平成 25 年度 年間スケジュール

年度目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 (1) 認知症の人を支援している施設・事業所・自治体の取組みを 具体的に把握し、課題を抽出して福祉広報を通じて情報発信す る。 (2) (1)をふまえ、東社協における認知症の人の支援に関わる部署 で“東社協らしい”事業を提案する。				PJ①		PJ②		PJ③		PJ④		
	← 実践事例ヒアリング →											
										ヒアリ ングま とめ		